

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

卵子提供妊娠の周産期予後に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2012年5月1日から2020年12月31日までに東海大学医学部附属病院産婦人科で分娩となった卵子提供妊娠の方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年7月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：卵子提供妊娠では、高齢妊娠に伴う合併症のほか、妊娠高血圧症候群や産後出血などの合併症を生じやすいとされています。近年、社会環境の変化等から卵子提供妊娠は増加しています。そこで本研究では、当院で分娩された卵子提供妊娠の方を対象に、合併症や治療内容、母児の予後を後方視的に検討し、卵子提供妊娠の方を管理する上での注意点や課題を明らかにすることを目的としました。

方法：研究者が診療情報をもとに解析を行います。この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：年齢、妊娠分娩歴、既往歴、妊娠から産褥までの臨床経過、分娩方法、合併症、治療内容、母体・新生児の短期予後
- ・ 試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

特にありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2380）

研究責任者 産婦人科 石本 人士

問い合わせ担当者 産婦人科 網野 ちひろ